

調査・研究発表会のお知らせ

調査・研究発表会は、本センターにおける調査・研究の成果を、県下の教育関係者に広く公開し、本県の教育の充実を図ることを目的としています。

- 1 期日 平成30年2月9日(金)
- 2 会場 愛媛県総合教育センター 大講義室等
- 3 研究主題
「輝く愛顔あふれる学校教育の総合的な支援」
- 4 研究の柱
 - (1) 教師力・学校力の向上に関する研究
 - (2) 喫緊の課題の解決に関する研究
- 5 研究発表
 - (1) 教員のキャリアステージに応じた資質・能力の向上を目指した研修の在り方
 - (2) 学校ホームページの構築支援
-XOOPSからNetCommonsへの移行-

- (3) 教育相談における教職員の能力向上に関する研究
- (4) 合理的配慮についての校内研修の支援に関する研究 -研修資料の作成・活用を通して-
- 6 えひめサイエンスリーダースキルアッププログラムに係る発表
- 7 長期研修生・短期研修生の発表
- 8 講演

昨年度の調査・研究発表会には、197名の先生方に御参加いただきました。今年度も多くの先生方の御参加をお待ちしています。

なお、内容の詳細及び参加申込みにつきましては、各学校に送付する案内又は本センターホームページを御覧ください。

(案内の送付、ホームページの更新は、11月中旬に行う予定です。)

教育相談室から

<愛媛県の適応指導教室について>

教育相談室では、県内の幼児児童生徒、保護者及び教職員を対象に、来所相談と電話相談を行っています。また、不登校児童生徒を対象とした適応指導教室「こまどり教室」を開設し、子どもの自立と集団への適応を目的に支援を行っています。

今年度新たに、内子町に適応指導教室が開設され、県及び市が開設する適応指導教室は、平成29年9月現在14教室となりました(右表参照)。本センターでは、これらの適応指導教室の相互理解と連携の機会を設けるために、広域不登校対策センター連絡協議会を年に1回開催しています。この連絡協議会では、各適応指導教室が抱える問題を共有し、対策を話し合うことを通して、適応指導教室、学校、家庭、関係諸機関が連携した地域ぐるみのサポートネットワークの整備と、支援の質の向上を目指しています。

【愛媛県内の適応指導教室】

四国中央市	適応指導教室	「キトリ」(休室中)
四国中央市	適応指導教室	「ユームールーム」
四国中央市	適応指導教室	「はあとふるD.O.I」
新居浜市	適応指導教室	「あすなる教室」
西条市	適応指導教室	「いしづち」
西条市	適応指導教室	「ひうち」
今治市	適応指導教室	「コスモスの家」
松山市	適応指導教室	「松山わかあゆ教室」
松山市	適応指導教室	「北条文化の森教室」
伊予市	適応指導教室	「はばたき」
内子町	適応指導教室	「ふれあいルーム」
大洲市	適応指導教室	「おおすふれあいスクール」
宇和島市	こども支援教室	「わかたけ」
愛媛県	適応指導教室	「こまどり教室」

所報「育心拓夢(いくしんたくむ)」について

この言葉は本センターが現在の地に移転した昭和57年頃、当時の所員が作った言葉で、敷地内にある石碑に刻まれています。「総合教育センターでは、子どもたちが確かな学力を身に付け、豊かな『心を育む』こと、また、自らの力で未来への『夢を拓く』ことができるように、学校支援を行う」という強い思いが込められています。

育心拓夢

- 教育開発部長挨拶1
- センターホームページの紹介1
- 専門研修について2
- 課題別研修について2
- 基礎研修<初任研・10年研>3
- 調査・研究発表会のお知らせ4
- 教育相談室から4



「教員に求められる資質・能力」

教育開発部長 富永 俊樹

「愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会」の歓喜に沸いた10月が過ぎ、実りの秋が深まっています。今年度も本センターでは、幼稚園・小・中学校・県立学校の基礎研修をはじめ、課題別研修、専門研修、サテライト講座(地域別研修)、出前講座など多種多様な講座を開設し、これまで1万2千人を超える先生方が受講されました。私も幾つかの講座でお話しする機会がありましたが、先生方の真剣なまなざしが印象的でした。自身の「資質・能力」を伸ばそうと励む姿は真に美しく、そこからは子どもたちへの深い愛情、教育への情熱や向上心が見受けられました。「愛媛の先生」の素晴らしさを改めて実感しています。

「教員に求められる資質・能力とは?」と問われたならば、どのように答えたらよいのでしょうか。「教員」を多面的・多角的に見て、様々な力や心を挙げることはできますが、その全てを適切に表現するとなると、意外に難しいのではないのでしょうか。本センターでは、これまでの研修・相談等の業務を通して得られた知見、また、愛媛大学 露口 健司教授との共同研究などを基に、教員の資質・能力を「人間力」「信頼構築力」「組織力」「実践的指導力」という四つの大きな観点

から捉えています。

子どもたちや大人をも魅了する豊かな人間性と、崇高な使命感等の「人間力」、人々との信頼関係を広げ深める「信頼構築力」、組織の一員として働き、チームワークを高める「組織力」、そして、これらに支えられた教育のプロとしての「実践的指導力」です。これらの資質・能力は、例えば「実践的指導力」ならば、「省察力」「教科等指導力」「学級経営力」等のキーワードで更に細分化できます。その一つ一つは、教員のキャリアステージ全体を通して、学び続けることによって、着実に身に付いていくと考えています。

教員のキャリアステージを、採用段階を経て、若年層教員に当たる「基盤形成期」「資質・能力向上期」そして、中堅からベテラン教員の「資質・能力充実期」「資質・能力発展期」と段階的に見た場合、大切なことは、各ステージにおいて、自分の資質・能力がどれくらいのレベルまで達していればよいのか、私たち教員はきちんと理解していなければならないということです。

平成29年4月1日の教育公務員特例法等の改正に伴い、本県においても、現在、教員育成指標の作成及び研修体系の見直しが進められているところです。やがて策定される「教員のキャリアステージにおける育成指標」を、自分の「伸ばすべき姿」と捉えて、常に学び続けていってほしいと願っています。今後とも、私たち本センター所員は、一丸となって「学び続ける先生方」を誠心誠意、支援してまいります。

総合教育センターホームページの紹介

本センターホームページでは、愛媛の子どもたちのために、学校・家庭を総合的に支援するための情報を掲載しています。

<ホームページで提供している主な情報>

- 学校の教育活動を支援する情報
- 教職員の研修に関する情報
- 学校づくりや授業改善等で活用できる情報
- 子どもの発達や教育についての相談・支援に関する情報

上記の内容や本センターの取組について随時更新していますので、ぜひ御活用ください。

<ホームページURL>

<https://www.esnet.ed.jp/center/>



専門研修

今年度は、専門的・特定分野における専門性を高める専門研修を9講座から14講座に拡充しました。

<道徳教育推進リーダー研修>

6月27日、7月11日に開催した「道徳教育推進リーダー研修」は、道徳教育をリードする県内外の講師による講義及び演習を通して、道徳教育推進教師としての資質・能力の向上を図る研修です。道徳教育を取り巻く現状を踏まえ、道徳教育推進教師の役割や今後の道徳教育の改善・充実のための方策について、理解を深めるとともに、新しい時代を迎える道徳教育を推進するリーダーとしての資質・能力の向上を図りました。



<学校ホームページ構築研修>

また、7月から8月にかけて開催した「学校ホームページ構築研修」は、ESnetの強靱化に伴う最新のシステムを活用した学校ホームページの運用を行うための研修です。県下全てのESnet接続校の管理職又は情報教育担当職員を対象に開催しました。研修を通じて、学校ホームページの運用方法やセキュリティ技術について理解を深めた上で、より活発かつ安全な学校ホームページの運用に向けて、資質・能力の向上を図りました。



本センターは、喫緊の教育課題の解決に向けて、特定分野における専門性を高めるための支援を継続していきます。

課題別研修

— 特別支援教育 —

今年度は、課題別研修の中で、特別支援教育についての研修を7講座開催しました。7、8月に開催した5講座の内容についてお知らせします。

「通常の学級における特別支援教育の観点を取り入れた授業づくり」

特別支援教育の観点を取り入れた授業づくりや実践について研修を行いました。また、特別な教育的ニーズのある子どもの困難さや特性に応じた授業の工夫・支援について協議することで、通常の学級における授業での指導力の向上を図りました。



「特別支援教育コーディネータースキルアップ」

インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の推進に向けて必要な研修を行いました。また、校内支援体制づくりや合理的配慮の提供のプロセスを学ぶことで、特別支援教育コーディネーターとしての実践力の向上を図りました。



「特別支援学級担任のためのスキルアップ【難聴コース】【知的障がいコース】【自閉症・情緒障がいコース】」

各コースでそれぞれの障がいのある子どもの指導・支援について学びました。また、特別支援教育での、授業におけるICT機器の活用方法や児童生徒への効果的な支援方法などについて、合同で研修を行いました。



このように、特別支援教育の各講座では、講義、協議、演習を通して様々な内容の研修を行っています。

基礎研修 受講者の声

<初任者研修>



「私にとっての初任者研修」
新居浜特別支援学校
教諭 曾我部 遊

私にとっての初任者研修は、自分の普段の取組を振り返る場所、そして、自分の不安や悩みに対してヒントやアドバイスをいただける場所です。研修を終えるたびに、授業づくりや実践について深く考えることが少しずつできるようになりました。また、研修の場で同じ初任者と話をすることで元気をもらうことができ、明日からまた頑張ろうという明るい気持ちになれます。私の理想とする教師は「生徒が楽しみながら成長する授業を行う教師」です。初任者研修には、そのためのヒントが多くあります。それらを取りこぼさず、まとめあげ、今後の自分の糧とする所存です。遠い道のりですが、一步一步努力を重ねていきたいです。



<10年教職経験者研修>

10年研修を受講している先生方にインタビューをしました。参加者は、中井佐衣子 教諭（八幡浜市立白浜小学校）、蟹江浩之 教諭（今治市立朝倉中学校）、黒河智史 教諭（新居浜東高等学校）、泉志保 養護教諭（しげのぶ特別支援学校）の4名と本センター指導主事 客野美保です。

客野：研修を受けてどのような感想を持ちましたか。
中井：協議等で同じ経験年数の先生方の考えを聞くことができ、よい刺激になりました。
泉：自分ではできていると思っていたところが、実は少し不十分であったなど、自分自身を見直すよい機会になりました。
蟹江：大変勉強になりました。新しい情報を知ることができてよかったです。
黒河：自分たちの成果や悩みを、研修を通して意見交換できたことが、今後の教員生活に生きてくると感じました。
客野：どのような研修が印象に残りましたか。
中井：教科指導の研修では、体験を通して学ぶことができました。子どもの気持ちに立って研修を受けることができました。
泉：これからの自分の目標設定を考えるきっかけになりました。中堅教員として学校を組織的に見て動かしていくことの大切さを実感しました。



「花を咲かせるために」
砥部町立宮内小学校
教諭 黒田 なな

辞令の交付を受けて、教員としての第一歩を踏み出しました。最初の研修での、「花は一瞬にして咲くのではない」という言葉が深く心に残っています。子どもたちと過ごす日々は、毎日が試行錯誤の連続で、うまくいかず悩むこともたくさんあります。そこで立ち止まるのではなく、自分に足りないものを探し、根を張り、葉を広げ、自己を成長させていく一つの場として、この初任者研修はなくてはならないものだと思えました。研修を通して、仲間と高め合いながら、たくさんのことを学び、実践的指導力や使命感を高め、子どもの花を咲かせられる教員になりたいです。日々の積み重ねを大切にしながら、子どもたちが生き生きする指導・支援をし、たくさんの笑顔を引き出せるよう、これからも子どもたちと共に、自己を成長させていきたいと思っています。

